

<b>MEP・PAP乳剤</b> <b>ラビキラー乳剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ  <b>原体メーカー：</b> 住友化学，日産
<b>成分：</b> MEP〔有機リン系 PRTR・1種〕……………40.0% PAP〔有機リン系 PRTR・1種〕……………10.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> キシレン〔PRTR・1種〕……………26%以下 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………25%以下	<b>性状：</b> 淡黄褐色澄明可乳化油状液体  <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

### 【品目特性】……………

- 果樹のせん孔性害虫などの防除剤として優れた効果がある。
- 2成分を主剤とする製剤で浸達性があり，安定した効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 食入幼虫の若齢期に散布する。
- ブドウトラカミキリには10月中～下旬，又は3月中～下旬，コスカシバには9月下旬～10月中旬，又は3月中旬～4月上旬が散布適期である。
- 早春散布は樹液が動き出してから行うとよい。
- 樹幹部に十分散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤，ボルドー液との混用はさける。
- 適用作物（ぶどう，おうとう，もも，うめ，みかん，りんご）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（周辺作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7，ミツバチに対する注意事項を参照。
- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので，河川，養殖池等に飛散，流入しないよう注意して使用する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農 薬の総使用回数	PAPを含む農 薬の総使用回数
み か ん	ゴマダラカミキリ	200 倍	200 ～ 350 ℓ	産卵初期～ 幼虫食入初 期 但し、14 日 前まで	1 回	樹幹部か ら地際部 へ散布す る。	5 回以内 (樹幹処理は 1 回以内)	2 回以内
り ん ご				産卵初期～ 産卵最盛期 但し、30 日 前まで			3 回以内	2 回以内 (樹幹散布は 1 回以内)
ぶ ど う	ブドウトラカミキリ	200 ～ 300 倍		発芽前 (休眠期)	2 回以内	母枝、古 つるに薬 液を十分 散布する。	4 回以内 (収穫終了後 から萌芽ま では 2 回 以内、萌 芽 後は 2 回以内)	2 回以内
も も	コスカシバ	200 倍		落葉後～ 発芽前 (休眠期)	1 回	樹幹及び 主枝に十 分散布す る。	6 回以内 (樹幹処理は 1 回以内)	1 回
おうとう							2 回以内 (樹幹処理及 び灌注処理 は合計 1 回以内)	
う め					2 回以内		2 回以内	2 回以内